

#### 4 大麦

##### (1) 国際的な大麦需給の概要

###### ○2009/10年度の大麦需給（予測）のポイント

大麦の供給面では、豊作であった前年度に比べて単収が低下することなどから、世界的な生産量の減少が見込まれている。

需要面では、飼料用需要が増加するとの見込みから、消費量の増加が見込まれている。

期末在庫量については、前年度に引き続き生産量が消費量を上回ることから在庫の積み増しが行われると見込まれる。

###### 【生産量】

生産量は、収穫面積の増加が見込まれるものの、好天に恵まれた昨年と比較して、単収が低下するとの見通しから、オーストラリアで増産となるものの、ロシア、ウクライナ、EU等の主要生産国で減産が見込まれ、世界全体では前年度より7.6百万トン減少（▲5.0%）し、146.3百万トンとなる見込みである。

###### 【消費量】

消費量は、ロシア、ウクライナ等で減少するものの、飼料用需要を中心にEUカナダ等で増加が見込まれ、世界全体では前年度より1.9百万トン増加（1.3%）し、144.5百万トンとなる見込みである。

###### 【貿易量】

世界全体の貿易量は、2.1百万トン減少（▲10.83%）し、17.2百万トンとなる見込みである。

国別には、輸出国では、生産量が増加すると見込まれているオーストラリア等で輸出量の増加が見込まれているが、ロシアやEU等では減少が見込まれている。輸入国では、中国等で輸入量の増加が見込まれるが、イランやシリア等では減少が見込まれている。

###### 【期末在庫量】

期末在庫量は、2年連続で生産量が消費量を上回ることから、ロシア等で減少するものの、EU等で積み増しされ、世界全体では前年度より1.8百万トン増加（5.8%）し、32.0百万トンとなる見込みであり、期末在庫率は22.1%（0.9ポイント増）となる見込みである。

表-1 世界の大麦需給

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
<b>生産量</b>	<b>133.1</b>	<b>153.9</b>	<b>146.3</b>	...	<b>▲ 5.0</b>
EU-27	57.6	65.6	64.2	...	▲ 2.1
ロシア	15.7	23.1	16.0	...	▲ 30.7
カナダ	11.0	11.8	10.7	...	▲ 9.2
ウクライナ	6.0	12.6	9.5	...	▲ 24.6
オーストラリア	7.2	7.0	7.5	...	7.1
トルコ	6.0	5.6	6.8	...	20.5
米国	4.6	5.2	4.9	...	▲ 6.0
<b>消費量</b>	<b>135.4</b>	<b>142.6</b>	<b>144.5</b>	...	<b>1.3</b>
うち飼料用	92.7	98.7	99.8	...	1.2
EU-27	54.9	57.1	58.5	...	2.5
ロシア	15.1	17.1	16.8	...	▲ 1.8
カナダ	7.9	9.0	9.3	...	3.9
サウジアラビア	7.4	7.4	7.5	...	1.3
トルコ	6.5	5.9	5.9	...	0.0
ウクライナ	5.3	5.8	5.3	...	▲ 8.6
米国	4.4	5.1	5.2	...	2.2
<b>貿易量</b>	<b>15.5</b>	<b>19.3</b>	<b>17.2</b>	...	<b>▲ 10.8</b>
(輸出)				...	
ウクライナ	1.0	6.3	4.5	...	▲ 28.6
オーストラリア	3.4	3.5	4.0	...	14.3
EU-27	3.8	3.5	3.2	...	▲ 8.6
カナダ	3.0	1.6	1.8	...	12.5
ロシア	1.0	2.5	1.6	...	▲ 36.0
アルゼンチン	0.9	0.8	0.9	...	20.0
サウジアラビア	0.8	0.6	0.6	...	0.0
(輸入)				...	
サウジアラビア	7.4	7.3	7.5	...	2.7
日本	1.4	1.4	1.4	...	0.0
中国	1.1	1.0	1.2	...	20.0
イラン	0.3	1.7	1.0	...	▲ 41.2
シリア	0.2	1.7	1.0	...	▲ 41.2
チュニジア	0.6	0.7	0.3	...	▲ 57.1
モロッコ	0.3	0.4	0.1	...	▲ 71.4
<b>期末在庫量</b>	<b>18.9</b>	<b>30.2</b>	<b>32.0</b>	...	<b>5.8</b>
EU-27	5.0	10.2	12.9	...	26.2
カナダ	1.6	2.9	2.5	...	▲ 12.2
オーストラリア	2.0	2.3	2.5	...	8.7
ロシア	1.0	4.6	2.3	...	▲ 49.6
サウジアラビア	2.4	2.3	2.3	...	▲ 1.3
米国	1.5	1.9	1.7	...	▲ 11.3
ウクライナ	0.6	1.1	0.8	...	▲ 26.2
<b>期末在庫率</b>	<b>14.0%</b>	<b>21.2%</b>	<b>22.1%</b>	...	<b>0.9</b>

資料：USDA「Grain: World Markets and Trade」、  
「PS&D」

(2) 大麦の主要生産・輸出国等の需給状況

ア オーストラリア

【需給状況】

オーストラリアの生産量は、収穫面積は前年よりわずかに減少するが、2年連続で単収が増加するため、生産量は前年度より0.5百万トン増加(7.1%)し、7.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用向け需要の増加により、前年度より0.1百万トン増加(3.1%)し、3.3百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.5百万トン増加(14.3%)し、4.0百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は前年度より0.2百万トン増加(8.7%)し、2.5百万トンとなる見込みである。また、期末在庫率は34.2%(0.1ポイント減)となる見込みである。

【生育進捗状況及び作柄】

2009/10年度の大麦の作付けは降雨を待って5月～7月にかけて開始される。

イ カナダ

【需給状況】

カナダの生産量は、収穫面積は前年よりわずかに減少し、豊作であった前年に比べ単収が低下することから、前年度より1.1百万トン減少(▲9.2%)し、10.7百万トンとなると見込まれている。

消費量は、飼料用向け需要が0.4百万トン増加(5.2%)することなどを受け、消費量全体は前年度より0.3百万トン増加(3.9%)し、9.3百万トンとなる見込みである。

他の大麦輸出国の輸出が全体として減少する中、輸出量は前年度より0.2百万トン増加(12.5%)し、1.8百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は前年度より0.4百万トン減少(▲12.2%)し2.5百万トンとなり、期末在庫率は22.7%(4.5ポイント減)と見込まれている。

【生育進捗状況及び作柄】 2009/10年度の大麦の作付けは、産地の土壌水分の不足から遅れている。

我が国の輸入先国シェア 1位 (2008年数量ベース44.5%)  
世界の生産量シェア 5位 (2009/10年度 5.1%)  
輸出量シェア 2位 (2009/10年度 23.2%)

表-2 オーストラリアの大麦需給 (市場年度: 11月～翌年10月)

(単位: 百万トン)

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値 (ABARE)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率 (%)
生産量	7.2	7.0	7.5 (…)	…	7.1
消費量	3.2	3.2	3.3 (…)	…	3.1
うち飼料用	2.2	2.2	2.3 (…)	…	4.5
輸出量	3.4	3.5	4.0 (…)	…	14.3
輸入量	0.0	0.0	0.0 (…)	…	…
期末在庫量	2.0	2.3	2.5 (…)	…	8.7
期末在庫率	30.5%	34.2%	34.2% (…)	…	▲ 0.1
(参考)					
収穫面積 (百万ha)	4.93	4.50	4.40 (…)	…	▲ 2.2
単収 (t/ha)	1.46	1.56	1.70 (…)	…	9.0

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、  
「World Agricultural Production」、  
ABARE 「AUSTRALIAN CROP REPORT (February 2009)」

我が国の輸入先国シェア 3位 (2008年数量ベース21.9%)  
世界の生産量シェア 3位 (2009/10年度 7.3%)  
輸出量シェア 4位 (2009/10年度 10.5%)

表-3 カナダの大麦需給 (市場年度: 8月～翌年7月)

(単位: 百万トン)

年度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値 (AAFC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率 (%)
生産量	11.0	11.8	10.7 (10.8)	…	▲ 9.2
消費量	7.9	9.0	9.3 (8.5)	…	3.9
うち飼料用	6.6	7.7	8.1 (8.0)	…	5.2
輸出量	3.0	1.6	1.8 (2.4)	…	12.5
輸入量	0.1	0.1	0.1 (0.0)	…	▲ 33.3
期末在庫量	1.6	2.9	2.5 (2.0)	…	▲ 12.2
期末在庫率	14.3%	27.2%	22.7% (18.6%)	…	▲ 4.5
(参考)					
収穫面積 (百万ha)	4.00	3.50	3.45 (3.5)	…	▲ 1.4
単収 (t/ha)	2.75	3.37	3.10 (3.11)	…	▲ 8.0

資料: USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、  
「World Agricultural Production」、  
AAFC 「Grains and Oilseeds Outlook (April 30, 2009)」

## ウ 米国

### 【需給状況】

米国の生産量は、前年度より0.3百万トン減少（▲6.0%）し、4.9百万トンとなる見込みである。

消費量は前年度より0.1百万トン増加（2.2%）し、5.2百万トンとなる見込みである。飼料用の消費は0.1百万トン増加（7.7%）している。

輸出量は、前年度より0.1百万トン増加（42.6%）し、0.4百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は前年度より0.2百万トン減少（▲11.3%）して1.7百万トンとなり、期末在庫率は30.3%（5.4ポイント減）となる見込みである。

### 【生育進捗状況及び作柄】

2009/10年度の大麦の生育状況については、産地が雨がちな天候のため、作付率は50%と、平年より37ポイント、前年より39ポイント遅れており、発芽率も20%と、平年より26ポイント、前年より34ポイント遅れている。

〔我が国の輸入先国シェア2位（2008年数量ベース32.1%）  
世界の生産量シェア 7位（2009/10年度 3.3%）〕

表－4 米国の大麦需給（市場年度：6月～翌年7月）

(単位:百万トン)

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	4.6	5.2	4.9	...	▲ 6.0
消費量	4.4	5.1	5.2	...	2.2
うち飼料用	0.7	1.4	1.5	...	7.7
輸 出 量	0.9	0.3	0.4	...	42.6
輸 入 量	0.7	0.7	0.5	...	▲ 16.7
期末在庫量	1.5	1.9	1.7	...	▲ 11.3
期末在庫率	28.1%	35.6%	30.3%	...	▲ 5.4
(参考)					
収穫面積(百万ha)	1.42	1.52	1.39	...	▲ 8.6
単収(t/ha)	3.23	3.42	3.52	...	2.9

資料：USDA「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、  
「World Agricultural Production」

### ○ 米国大麦の進捗状況及び作柄（5月17日時点）

〔生育進捗状況（2009/10年度 主要5州）

作付率 50%（平年差：▲37 p、前年差：▲39 p）

発芽率 20%（平年差：▲26 p、前年差：▲34 p）

## エ EU-27

### 【需給状況】

EUの生産量は、豊作であった前年度と比較して、単収は前年並みであるものの、収穫面積が減少するため、前年度より1.4百万トン減少（▲2.1%）し、64.2百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用需要の増大により、前年度より1.4百万トン増加（2.5%）し、58.5百万トンとなる見込みである。

輸出量は、前年度より0.3百万トン減少（▲8.6%）し、3.2百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は前年度より2.7百万トン増加（26.2%）し12.9百万トンとなり、期末在庫率は20.8%（4.0ポイント増）となる見込みである。

### 【生育進捗状況及び作柄】

2009/10年度の大麦の作付に関しては、湿った気候でドイツ、ハンガリー、ポーランドで春大麦の作付けが遅れたが、フランスでは乾燥した気候のため進展した。引き続き、天候に注視が必要である。

【貿易情報】穀物の輸入関税を2008年1月より停止していたが、2008年10年に再導入した。

〔世界の生産量シェア 1位（2009/10年度 43.9%）〕  
〔輸出量シェア 3位（2009/10年度 18.6%）〕

表－5 EU-27の大麦需給（市場年度：7月～翌年6月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	57.6	65.6	64.2 (62.9)	…	▲ 2.1
消費量	54.9	57.1	58.5 (…)	…	2.5
うち飼料用	38.9	40.6	42.0 (…)	…	3.4
輸 出 量	3.8	3.5	3.2 (…)	…	▲ 8.6
輸 入 量	0.3	0.2	0.2 (0.3)	…	▲ 25.0
期末在庫量	5.0	10.2	12.9 (…)	…	26.2
期末在庫率	8.5%	16.8%	20.8% (…)	…	4.0
(参考)					
収穫面積(百万ha)	13.8	14.6	14.3 (…)	…	▲ 1.8
単収(t/ha)	4.18	4.50	4.49 (…)	…	▲ 0.2

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain : World Markets and Trade」、  
「World Agricultural Production」  
IGC 「Grain Market Report (30 April 2009)」

## オ ウクライナ

### 【需給状況】

ウクライナの実産量は、天候に恵まれ豊作であった前年度と比較して、収穫面積は増加するものの、雨が少ないことから単収が低下すると見込まれ、前年度より3.1百万トン減少（▲24.6%）し、9.5百万トンとなる見込みである。

消費量は、前年度より0.5百万トン減少（▲8.6%）し、5.3百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の減少を受け、前年度より1.8百万トン減少（▲28.6%）し、4.5百万トンとなる見込みである。

この結果、期末在庫量は前年度より0.3百万トン減少（▲26.2%）し0.8百万トンとなり、期末在庫率は8.5%（0.8ポイント減）となる見込みである。

### 【生育進捗状況及び作柄】

2009/10年度の春大麦の作付けは終了した。生育期に入り、乾燥した天候となっており、今後の天候に注視する必要がある。

### 【貿易情報】

輸出量の枠が設定されていたが、2008年5月に撤廃された。

〔世界の生産量シェア 4位（2009/10年度 6.5%）〕  
〔輸出量シェア 1位（2009/10年度 26.1%）〕

表－6 ウクライナの大麦需給（市場年度：7月～翌年6月）

年 度	2007/08	2008/09 (見込み)	2009/10		
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)
生産量	6.0	12.6	9.5 (9.8)	…	▲ 24.6
消費量	5.3	5.8	5.3 (…)	…	▲ 8.6
うち飼料用	3.6	4.1	3.6 (…)	…	▲ 12.2
輸 出 量	1.0	6.3	4.5 (…)	…	▲ 28.6
輸 入 量	0.0	0.0	0.0 (…)	…	25.0
期末在庫量	0.6	1.1	0.8 (…)	…	▲ 26.2
期末在庫率	9.8%	9.3%	8.5% (…)	…	▲ 0.8
(参考)					
収穫面積(百万ha)	4.10	4.15	4.50 (…)	…	8.4
単収(t/ha)	1.46	3.04	2.11 (…)	…	▲ 30.6

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain : World Markets and Trade」、  
「World Agricultural Production」  
IGC 「Grain Market Report (30 April 2009)」

## カ ロシア

### 【需給状況】

ロシアの生産量は、前年度より7.1百万トン減少（▲30.7%）し、16.0百万トンとなる見込みである。

消費量は、飼料用の需要が減少することなどから、全体で前年度より0.3百万トン減少（▲1.8%）し、16.8百万トンとなる見込みである。

輸出量は、生産量の減少を受け、前年度より0.9百万トン減少（▲36.0%）し、1.6百万トンとなる見込みである。

期末在庫量は、2.3百万トン減少（▲49.6%）し2.3百万トンとなり、期末在庫率は12.7%（11.0ポイント減）となる見込みである。

### 【生育進捗状況及び作柄】

2009/10年度の春大麦については、5月に入り、作付けが開始された。

### 【貿易情報】

2008年7月1日まで、輸出税が賦課されていた。

〔世界の生産量シェア 2位（2009/10年度 10.9%）  
輸出量シェア 5位（2009/10年度 9.3%）〕

表-7 ロシアの大麦需給（市場年度：7月～翌年6月）

（単位：百万トン）

年 度	2006/07	2007/08 (見込み)	2008/09			
			予測値(IGC)	前月予測 からの変更	対前年度 増減率(%)	
生産量	15.7	23.1	16.0 (17.0)	…	▲ 30.7	
消費量	15.1	17.1	16.8 (…)	…	▲ 1.8	
うち飼料用	10.5	12.3	12.0 (…)	…	▲ 2.4	
輸出量	1.0	2.5	1.6 (…)	…	▲ 36.0	
輸入量	0.2	0.1	0.1 (…)	…	0.0	
期末在庫量	1.0	4.6	2.3 (…)	…	▲ 49.6	
期末在庫率	6.4%	23.7%	12.7% (…)	…	▲ 11.0	
(参考)						
収穫面積(百万ha)	9.80	9.70	9.20 (…)	…	▲ 5.2	
単収(t/ha)	1.60	2.38	1.74 (…)	…	▲ 26.9	

資料：USDA 「World Agricultural Supply and Demand Estimates」、  
「Grain: World Markets and Trade」、  
「World Agricultural Production」、  
IGC 「Grain Market Report (30 April 2009)」